

有田町の中心市街地で町民や旅行者が多く集まる駅前地区の公共空間を整備したものである。整備には住民の意向を考慮し、道路法面にモザイク模様を描き、電柱の地中化、陶磁製の壺の設置などを行い、陶磁器の街のイメージを強調した。



絢爛たる赤絵文化を生んだ陶器の町、有田町は、佐賀県西部、長崎県との県境附近に位置する人口約一万四〇〇〇人の町である。伝統を誇る美術工芸品

や食器類のほか、工業用の耐熱耐酸性の磁器、建築用タイル、さらに最近ではファインセラミックスも生産している。



データボード⑧

- ① 佐賀県有田町
- ② 有田町役場 ☎09554-3-2101
- ③ 県道有田停車場線：延長 300m、幅員15m
- ④ 耐火レンガタイル、ブロック、コンクリートブロック、三間坂石、磁器製壺、等
- ⑤ 有田陶器市、有田国際ファインセラミックスシンポジウム、陶都有田健康ロードレース

町では六〇年二月に開催した第二回の「有田国際ファインセラミックスシンポジウム」を機に、「いきいきとした有田らしい楽しい町並」づくりを目指し、「陶磁の香りのする駅前通り」の整備を行った。整備にあたっては県、九州電力、NTT、有田駅前街路灯組合が、住民の意向を取り入れつつ、それぞれの立場で協力しあった。

陶製タイルを利用した法面工や耐火レンガブロックを使用した歩道の整備、また陶製の看板をつけた電話ボックスや有田焼のレプリカの設置、そして街区の無電柱化や街路灯の刷新などにより、伝統の町有田のイメージを強く訴えるとともに、快適で潤いのある空間を創出している。